

小林市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の進行が原因と考えられる気候変動や深刻な自然災害など、予測不能な問題が頻発しています。この気候変動問題は、世界的な対応が求められ、小林市においても行政・市民・事業者が適切に役割を分担し、地域の視点から地球温暖化防止対策に積極的に取り組む必要があります。

その地球温暖化の防止対策として、2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇幅を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑える努力を迫及する」という目標が掲げられました。これを達成するためには、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「2050年までに世界全体の二酸化炭素の実質排出量をほぼゼロにする必要性がある」とされています。

このことから、小林市では、地球温暖化の要因とされる二酸化炭素の排出を段階的に抑え、気候変動の軽減となる循環型社会の推進や地球環境の保全の施策を進めます。また、将来を担う次の世代へ「豊かな自然と共に安心してらせるまち」を残すため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティこぼやし」を目指すことを宣言します。

令和4年6月10日

小林市長 宮原 義久